

Sea Kayaking

赤穂 日生

1999.5/16 晴れ

「海原で

二艘のカヤック

たわむれる」

今シーズン初のシーカヤッキングで、加藤氏と二人で遊んできました。往復で約20kmでした。先週は雪山で山スキーを楽しんでいたのですが、今週の暑さで今日は海とたわむれて楽しい一日を過ごしました。どちらにしても日焼けは付き物でサングラスの後のパンダが消えそうにありません。



「ルアー釣り

イワシ疑似餌で

地球釣る」

無人島に上陸して昼食タイムも終え、カヤック上での十何年ぶりの釣りに転じた。竿とかリールやその他もろもろは、もっばらの私の自訓で「道具を大事にする」の鉄則でちゃんと保管していたので問題無かったが、今は海でもルアー釣りがスポーツになっているらしく、釣り道具店で教わっていた加藤氏がなん



と、イワシの疑似餌で挑戦となって、私もそれにおこぼれしてヒラメでも釣ろうかと挑んだのだが、いかんせん直ぐさま根がかりして、地球を釣ってしまった。

あえなく一個1000円もする疑似餌が海の底で環境汚染になってしまった。もう、こんなルアーの疑似餌は金輪際やめておこうと思ったしだいである。

海の底が環境汚染に繋がっては申し訳ないどころでは済まない。

「海原に

赤く染まりし

復路漕ぐ」

釣りも早々に切り上げてそろそろ帰ろうかとなり、復路となったが、なんと来つときは多少はよごれてはいた海上が・・・大海原が真っ赤に染まっている・・・決して大げさではなく本当に大変な広さに浮遊しているのです。私もカヤックから手を漬けて確認したところ、どうやらプランクトンではあるが卵のようにツブツブで手にまとわり付くといった感じである。こんなものが浮いていても泳いでいたら、思うとゾ～としてしまう。

しかし、この5月に赤潮が発生するとはやはり地球の温暖化の異常気象といったの過言ではないだろう。

また、いかにも猛毒のクラゲがたくさん浮いていた・・・今年は海でも泳ぎはウエット着用がベストであろう。

..... 後記

山陽自動車道の赤穂で下車して絶好のカヤック出艇ポイントを加藤氏が知っていたのでそこから、遙か向こうの鹿居島方面に漕ぎだし、小さな島々の周りをゆっくりと散策して・・・太陽が適度に照りつけて海水温の心地よい冷たさ・・・ああ、何と心休まる充実したひと時か。

何から何までが贅沢な遊び・・・こんなに満喫してもいいのだろうか、そんな一日でした。

